

トマジーニはイタリアの老舗ブランド。始まりは1948年、会社設立は57年だという。日本ではスチールフレームが有名だ。

このエックスファイヤーもスチールフレームの範疇に入るが、ただのスチールではない。フレームチューブには、イタリアの素材メーカー、コロンプスのXCrを使用。ステンレスチューブなのだ。ステンレスは溶接が難しいとされており、そのフレームは世界的に見てもめずらしい。

そういった予備知識を持つと、クロム色に輝くフレームは一層美しく見える。存在感があり、所有欲をくすぐられる。

筆者はインプレッションのためこれまでさまざまな自転車に乗ってきた。しかしながら、ステンレスフレームに乗った記憶はなかった。それだけに乗り味が楽しみだった。

結果は、まず金属の薄さを感じる。走りは軽快だ。スチールらしいバネ感はあるが、一般的なクロモリに比べるとそれはずっと軽い。20年以上前に乗っていて記憶しているマンガンモリブデン鋼の「金属的な乾いた感触」とクロモリの「粘り」の中間と言ったらいだろうか。

はじめての感覚が楽しいイタリアンロードだ。



輝くチューブに張られる COLUMBUS XCr のラベル。難しいとされるステンレス溶接だが、溶接痕は細かく美しい仕上がりだ

TOMMASINI X-FIRE

トマジーニ エックスファイヤー

SPEC

価格：588,000円（フレームセット）
フレーム：コロンプス XCr ステンレス（単体重量：1400g）
フォーク：FKT60 カーボン
撮影車参考重量：7.8kg（サイズ：57cm〈実測 C-T〉）※
問：アクションスポーツ
Tel048-258-7811

希少なステンレス製の
美しさ